

## 2. 現況調査

### 2.1 本市の概況

#### 2.1.1 自然的条件

##### (1) 位置

- 本市は沖縄本島中部の東海岸に位置し、東に金武湾、南に中城湾の両湾が存在
- 市域は丘陵地の広がる石川地域と金武湾及び中城湾の両湾に接する具志川地域・勝連半島の地勢に加え、東方海上には、市街地と架橋で結ばれる平安座島、浜比嘉島、宮城島、伊計島、また、有人離島である津堅島を含めた島しょ地域で構成
- 本市の総面積は、8,702ha（令和5年1月全国都道府県市区町村別面積調査）

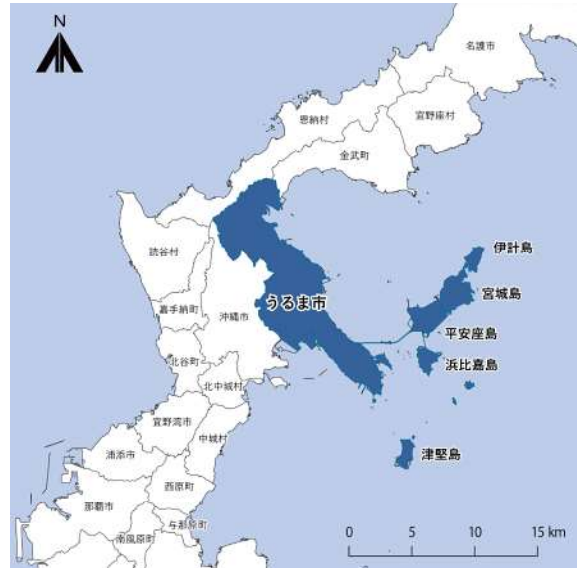


図 2.1 位置図

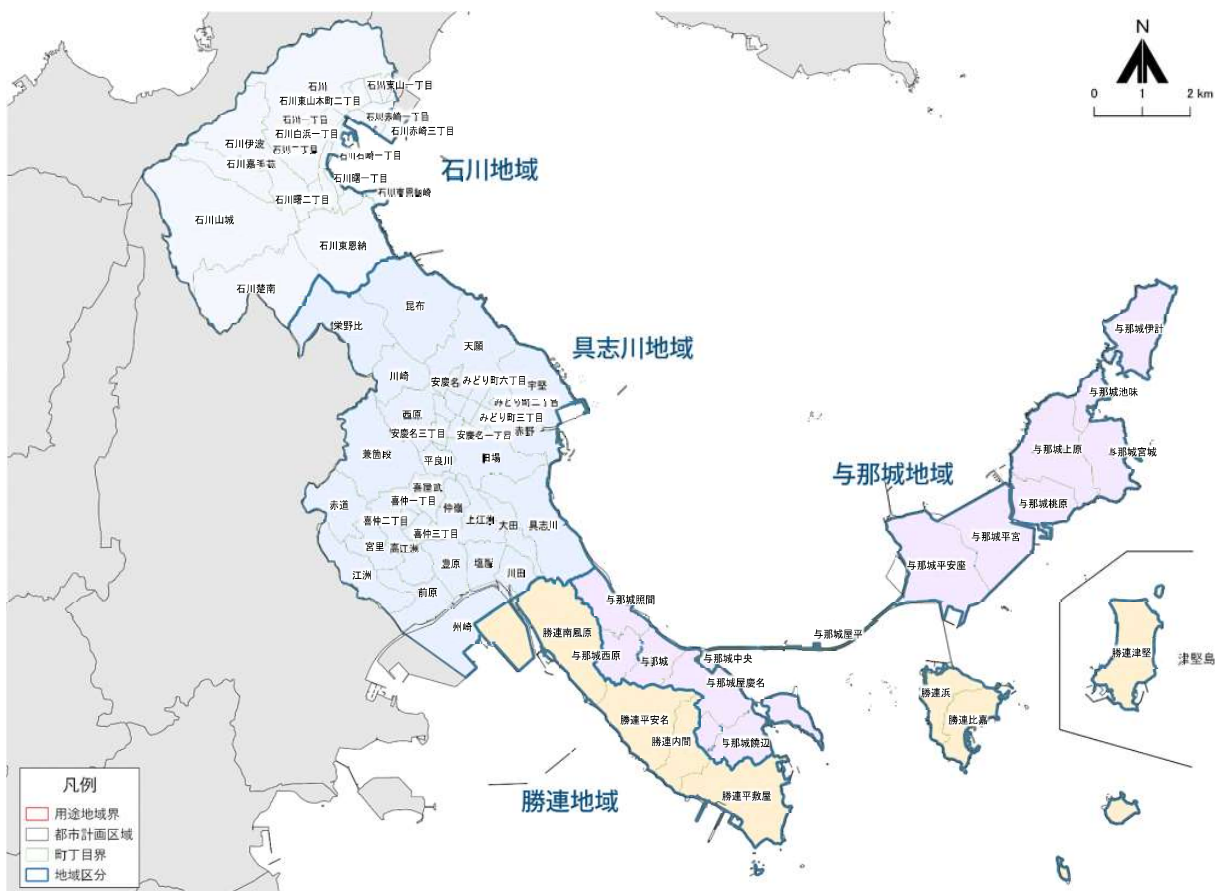
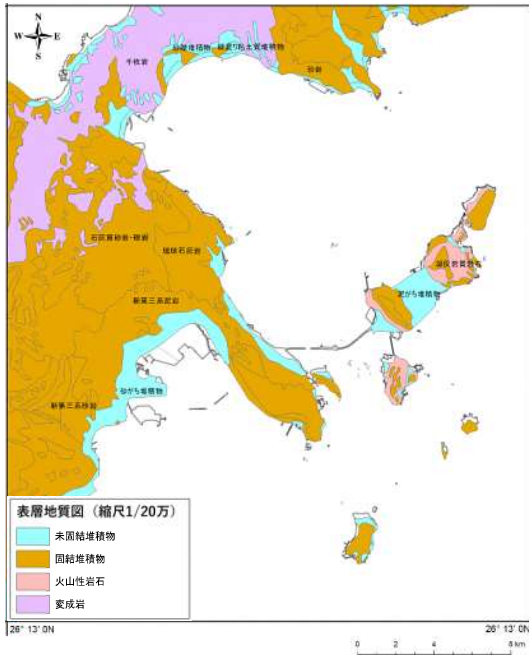


図 2.2 地域区分

## (2) 地形・地質

- 市北西側が石川岳から連なる山地、山地の西側から東側の海岸線に下る地形で高低差は最大 204m
- 北部の石川地域は、変成岩(千枚岩)であり、具志川地域や勝連半島の台地・丘陵部は琉球石灰岩からなり、雨によって浸食されたカルスト地形
- 海岸部は未固結堆積物、崖線や低地に 193 か所の湧水が点在



出典：環境アセスメントデータベース（環境省）（原典：国土交通省「20 万分の 1 土地分類基本調査 GIS データ（表層地質図）（全国 47 都道府県）平成 16 年度」を加工／2. 参照\_原初：20 万分の 1 土地分類基本調査（表層地質図）国土庁昭和 45 年度～昭和 54 年度）

図 2.3 地質図

## (3) 水系・海岸

### 【河川】

- 河川は、比較的高い山地から一気に海に流れ込む急流河川
  - < 2 級河川 > 天願川、川崎川、石川川の 3 河川
  - < 準用河川 > ヌーリ川、川崎川、米原川の 3 河川
  - < 普通河川 > 屋慶名川などの 6 つの河川

### 【海岸】

- 海岸線は、勝連半島や島しょ地域を取り囲む海岸線
- 海岸線の多くは護岸整備など人工であるが、美原地区の海岸などは自然のままの海岸



出典：環境アセスメントデータベース（環境省）（原典：国土交通省「国土数値情報（河川）平成 18 年度～平成 21 年度」をもとに加工）

図 2.4 河川・海岸

1. 計画の概要

2. 現況調査

3. 計画課題

4. 緑及緑化び地の保全目標

5. 推及緑進び地の緑の方化保針の全

6. の推及緑施進び地策の緑のた化保めの全

7. 地域別計画

8. 配地緑慮区化地・重区保点全

9. 向計け画て実現に

10. 巻末資料

## (4) 気象

### 【降水量】

- 沖縄県は台風の常襲地帯であり、本市の過去 5 年間の年間降水量は、やや上昇傾向でありつつも概ね横ばいで、令和 4 年（合計）は 2,383mm

### 【気温】

- 過去 5 年間の日平均気温は概ね 23°C 前後で推移
- 令和 4 年の月別日最高気温は、5 月の梅雨期が明ける 6 月～9 月ではほぼ 30°C 前後、日最低気温は、12 月～4 月で 17°C 前後

### 【風速】

- 過去 5 年間の日平均風速は、概ね 5.5m/s で推移
- 令和 4 年の 10 月の平均風速は 6.4m/s、12 月は 7.2m/s と比較的高い値

### 【日照時間】

- 過去 5 年間の年間日照時間は約 1,800～2,000 時間
- 令和 4 年の月別平均日照時間は、7 月、8 月が 200 時間を超え、比較的多い

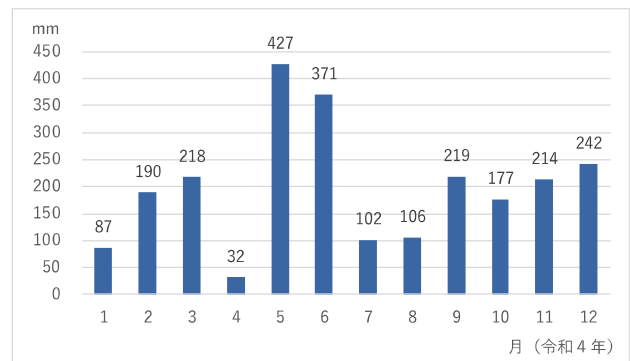
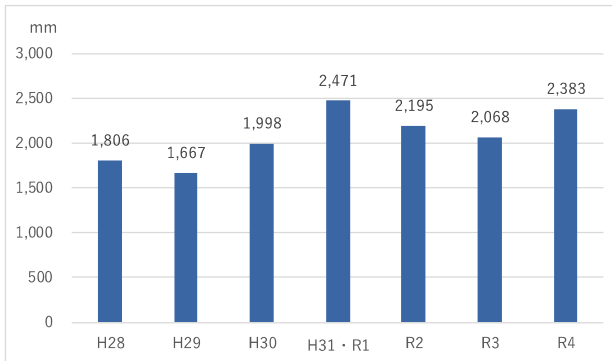


図 2.5 降水量（宮城島気象観測所）（左図：年別、右図：月別）

出典：気象庁ホームページより作成

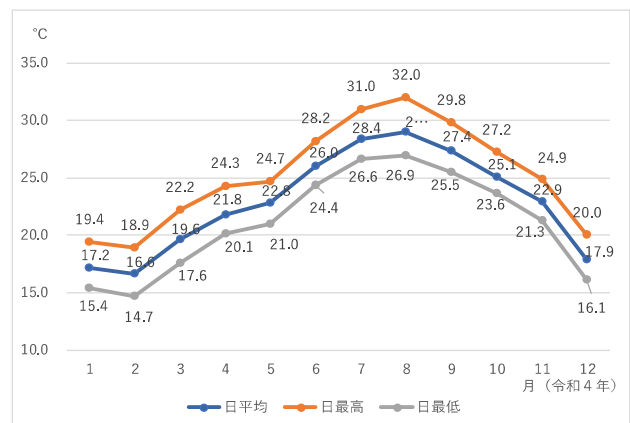
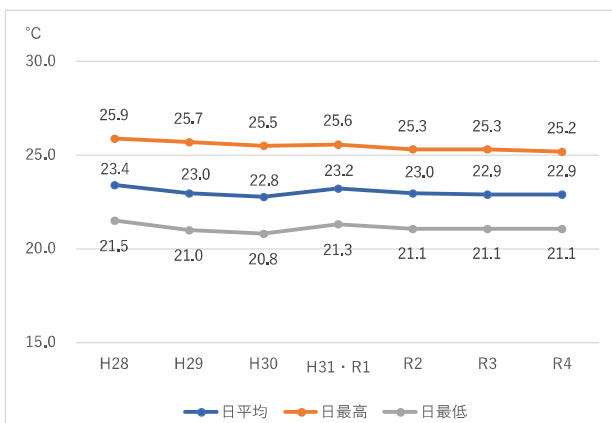


図 2.6 気温（宮城島気象観測所）（左図：年別、右図：月別）

出典：気象庁ホームページより作成

## (5) 植生

- 市全体の植生区分は、サトウキビ畑等の畑雑草群落 2,512.4ha が最も多く、次いで市街地 1,438.5ha、みどりの多い住宅地 1,343.8ha、常緑樹のリウキュウマツ群落 499.1ha、ナガミボチョウジ・ヤブニッケイ群落 437.9ha、ハドノキ・ウラジロエノキ群団（二次林）423.5ha が多く、造成地は 269.8ha
- 天願川上流や、石川岳から連なる市西側の倉敷ダム周辺の山地部は、畑地やゴルフ場として利用され、常緑樹のリウキュウマツやイジュ等の群落が存在
- 勝連半島や平安座島、宮城島、津堅島は、畑雑草群落の他、常緑樹のアダン群落、モクマオウ類植林や侵略的外来種のギンネム林（世界の侵略的外来種ワースト 100）（市全体 141.3ha）がまとまって存在
- 天願川河口にはボタンウキクサ（日本の侵略的外来種ワースト 100）が侵入

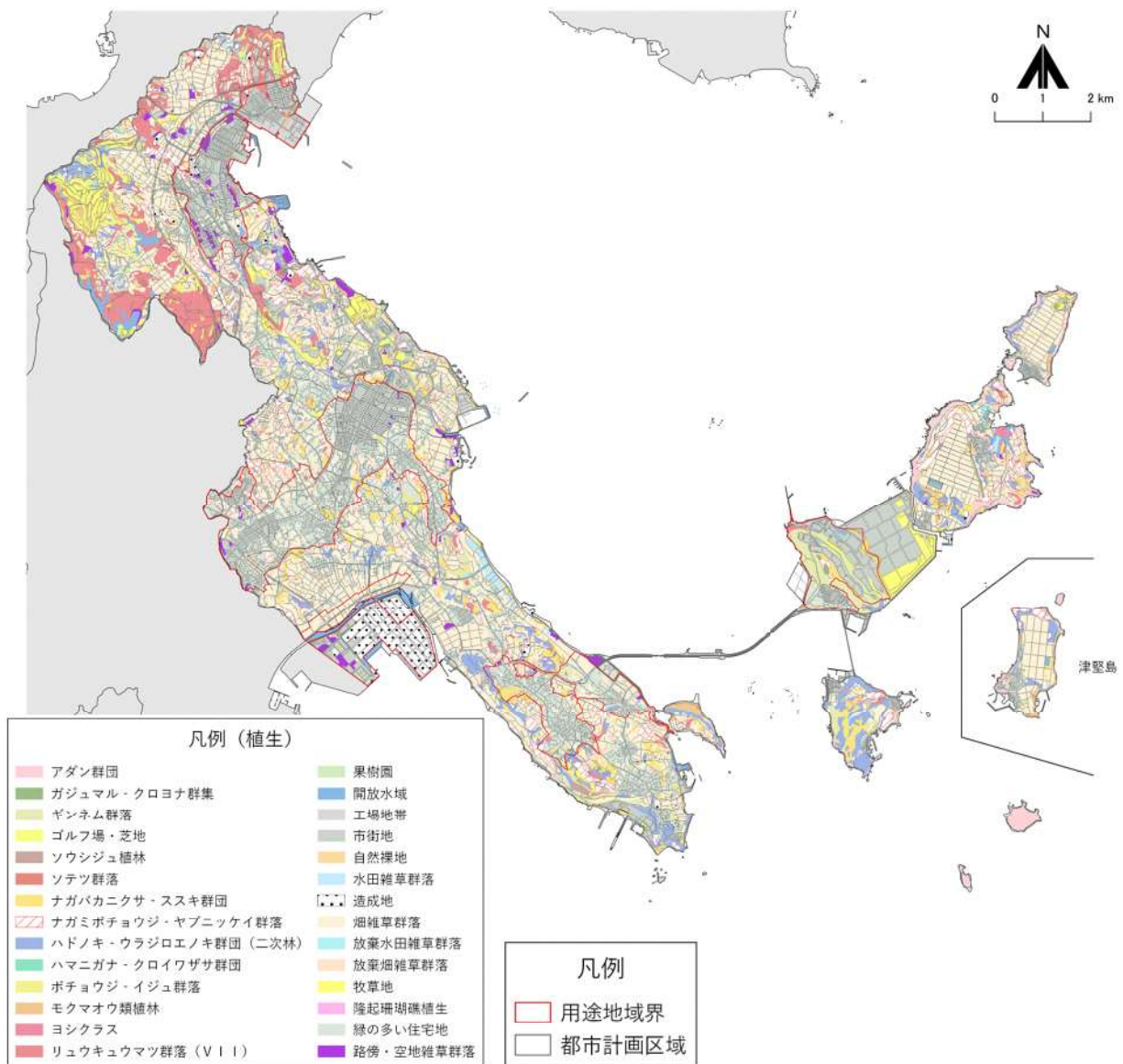


図 2.7 動植物調査図

出典：平成 30 年度中部広域都市計画基礎調査

1. 計画の概要

2. 現況調査

3. 計画課題

4. 緑及緑化の目標の保全

5. 推及緑進び地の緑の方化保針の全

6. の推及緑進び地策の緑のた化保めの全

7. 地域別計画

8. 配地緑慮区化地・重区保点全

9. 向計けて実現に

10. 巻末資料

## (6) 生物

- 鳥類はイソヒヨドリ、爬虫類はアオカナヘビ類、キノボリトカゲ類、昆虫類はクマゼミ、ナナホシキンカメムシなどの生息が確認
- 優れた自然は、浜比嘉島に重要野鳥生息地（生物多様性重要地域）、海岸部にはウミガメ産卵地、干潟・藻場・サンゴ礁が分布
- ミシシッピーアカミミガメ（ミドリガメ）、プレコストムス（プレコ）、グッピー等、ペットや観賞用として持ち込まれた動物が市内各地で繁殖・定着しており、在来の動物が減少

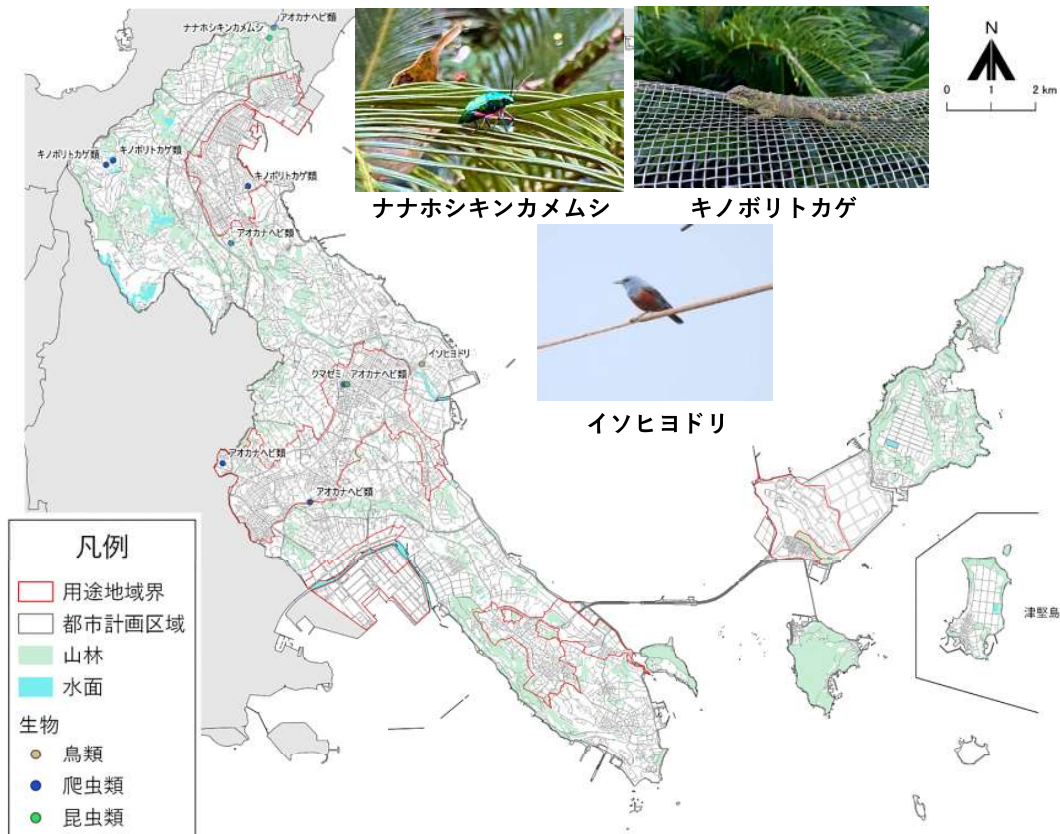


図 2.8 生物調査図

出典：平成 30 年度中部広域都市計画基礎調査

## 【沖縄島中南部圏域における生物多様性の現状と課題】

### 【森林生態系】

- 古くから農地などの開墾や宅地化が進んだことから、森林は石灰岩の丘など土地利用が困難な場所に残され、ガジュマルやリュウキュウガキなどの石灰岩特有の植生などが本圏域の特徴的な森林（ガジュマル、ヤブニッケイ、ホルトノキ、アカギ、オオバギ、リュウキュウマツ、ハマイヌビワ、クロヨナなど、外来種としては、トキワギョリュウ（モクマオウ）、ギンネムなど）

### 【課題】

- 水域：現存する干潟の保全と機能の再生、河川における更なる水質の改善、生物多様性に配慮した河川改修による生態系の再生、植栽されたマングローブ林の適切な管理
- ふれあい：自然とふれあう機会の増加と理解の増進
- 外来種：ペットなど飼育由来の新たな外来種の定着防止
- 緑化：都市地区での緑化推進（緑の回廊の創出）、返還跡地の自然環境の保全及び再生に留意したまちづくりの推進、祭祀や御嶽の周辺自然環境の減少の抑制と望ましい保全

出典：「生物多様性おきなわ戦略」（平成 25 年 3 月沖縄県）

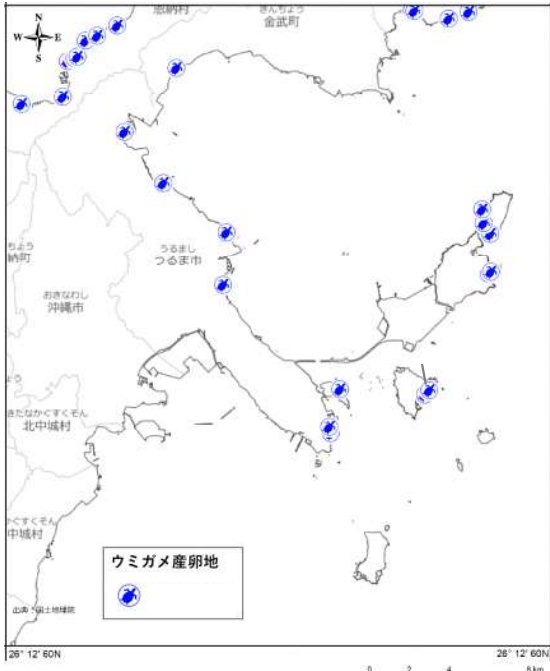


図 2.9 ウミガメ産卵地 (左図)

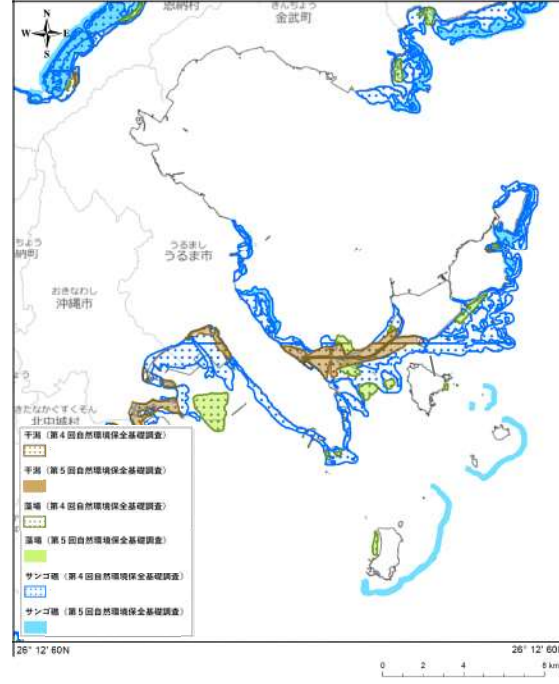


重要野鳥生息地 (右図)

- ・ウミガメ産卵地出典：環境アセスメントデータベース（環境省）（原典：海上保安庁 海洋状況表示システム 海洋生物・生態系情報 ウミガメ産卵地データ、(平成 22 年度時点) / 出典・情報提供者：NPO 法人日本ウミガメ協会）
- ・重要野鳥生息地出典：環境アセスメントデータベース（環境省）（原典：公益財団法人日本野鳥の会作成 IBA 情報）  
 (1) 位置情報：シェープファイル(2012 年 8 月)、(2) 属性情報：(2013 年 5 月)、/ 2. 参考資料：選定基準：公益財団法人日本野鳥の会 IBA 公開 Web サイト「IBA」の「選定基準」ページ (平成 25 年度)



図 2.10 生物多様性重要地域 (左図)



干潟・藻場・サンゴ礁分布図 (右図)

- ・生物多様性重要地域出典：環境アセスメントデータベース（環境省）（原典：コンサベーション・インターナショナル作成 GIS データ：(1)「KBA 地域」情報：KBA 地図シェープファイル (ver.2011.11.07)、(2)「保護地域内の KBA」情報：KBA 保護地域地図シェープファイル (ver.2011.11.07)）
- ・干潟・藻場・サンゴ礁分布図出典：環境アセスメントデータベース（環境省）（原典：環境省生物多様性センター 自然環境情報 GIS 提供システム (1) 第 4 回自然環境保全基礎調査 (海域生物環境調査) 干潟調査・藻場調査・サンゴ礁調査 (dr4、mo4、sa4、so4、sb4)、(2) 第 5 回自然環境保全基礎調査 (海辺調査) 干潟調査・藻場調査・サンゴ礁調査 (dr5、mo5、sa5) シェープファイル、第二版修正データ (平成 17 年度)）

1. 計画の概要

2. 現況調査

3. 計画課題

4. 緑及び緑化の目標

5. 推及緑地の緑化保全方針の全

6. の推及緑地策の緑のた化保め全

7. 地域別計画

8. 配地緑慮区化地・重区保点全

9. 向計け画て実現に

10. 巻末資料

## 2.1.2 社会的条件

### (1) 人口・将来人口推計

#### 【人口】

- 昭和 30（1955）年から昭和 45（1970）年までの人口は、約 8 万人弱でほぼ横ばいとなり、昭和 45（1970）年以降増加傾向、令和 2（2020）年約 12.5 万人

※昭和 30 年以降の 65 年間で約 1.6 倍程度の人口増

※昭和 45（1970）年から昭和 60（1985）年の人口急増の要因は、昭和 47 年の本土復帰後の県外企業の沖縄進出、県外からの移住の増加、その後の経済的発展による

#### 【将来人口推計】

- 令和 47（2065）年までの総人口の推移は、令和 2（2020）年頃まで順調な増加傾向
- その後は増加の度合いが鈍くなり、停滞時期に入り、令和 2（2010）年から約 10 年後の令和 12（2030）年頃をピークとして減少に転じ、令和 22（2040）年から人口減少期
- 令和 42（2060）年頃に約 11 万人となり、平成 27（2015）年の約 9 割まで減少と推測

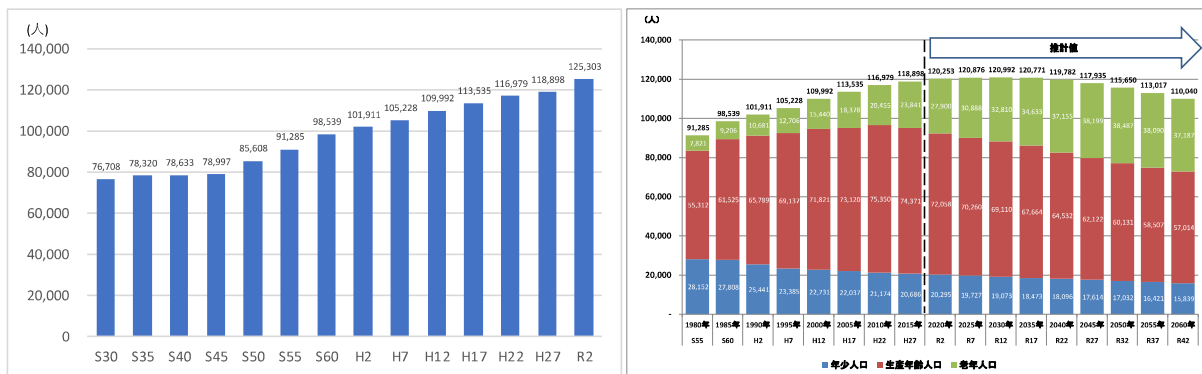


図 2.11 人口の推移 (左図)

将来推計人口 (右図)

出典：第 2 次うるま市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和 2 年 3 月）、国勢調査

資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 30 年 3 月推計）」

### (2) 産業

- 令和 2 年の産業別就業者数は、第 1 次産業 1,293 人、第 2 次産業 7,587 人、第 3 次産業 30,375 人であり、合計 41,989 人（分類不能 2,734 人含む）
- 第 3 産業は 72.3% を占め就業率がほぼ横ばい、第 2 次産業は 18.1%、第 1 次産業は 3.1% で、いずれもやや減少傾向



図 2.12 産業区別就業者数と就業率

出典：国勢調査

### (3) 土地利用

#### 【土地利用現況】

- 市域面積：8,702ha（令和 5 年 1 月 全国都道府県市区町村別面積調）
- 都市的土地利用：4,287.9ha（市域の 49.3%）（平成 28 年度中部広域都市計画基礎調査）  
※最も多い土地利用は宅地（宅地、商業、工業）の 2,097.3ha で、市域面積の 24.1%
- 自然的土地利用：4,414.1ha（市域の 50.7%）（平成 28 年度中部広域都市計画基礎調査）  
※山林 1,541.6ha（17.7%）、農地 2,062.7ha（23.7%）、水面 55.0ha（0.6%）、その他自然地 754.8ha（8.7%）

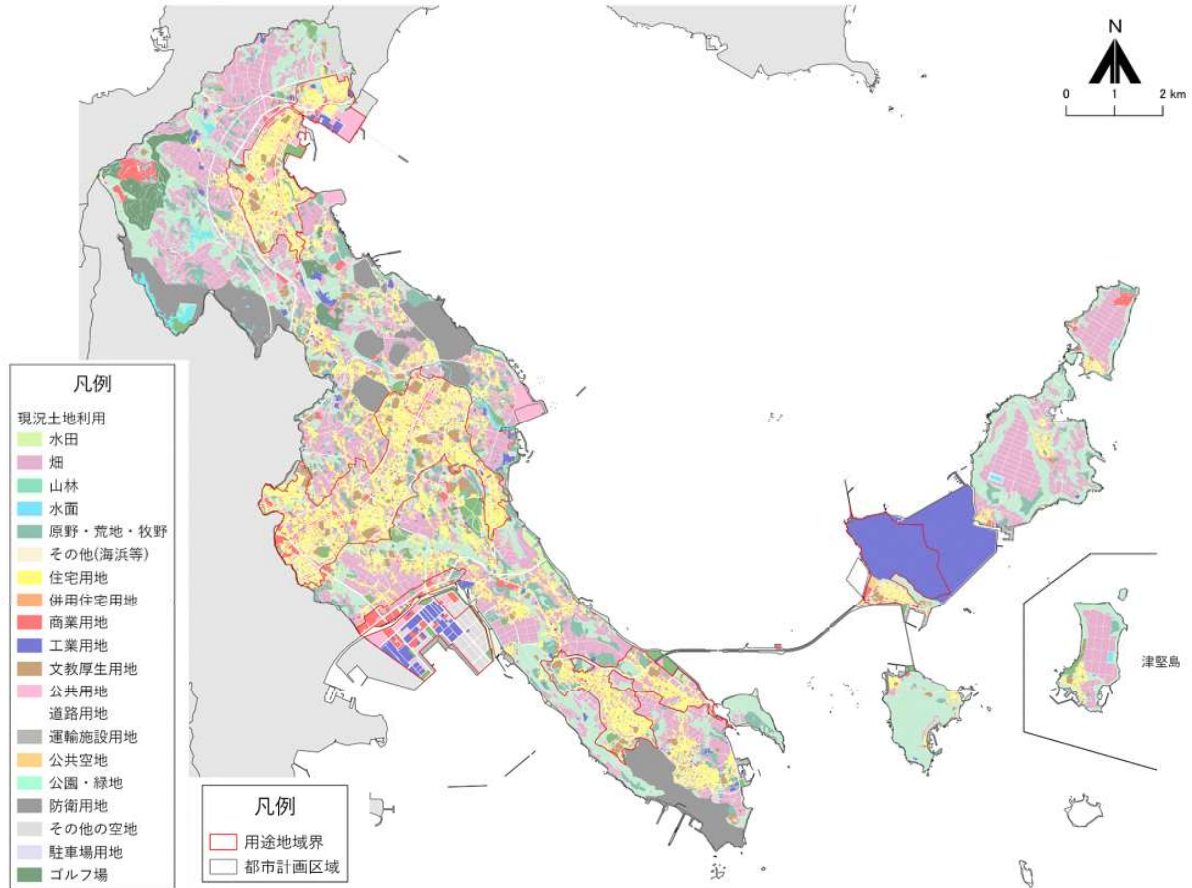


図 2.13 土地利用現況図

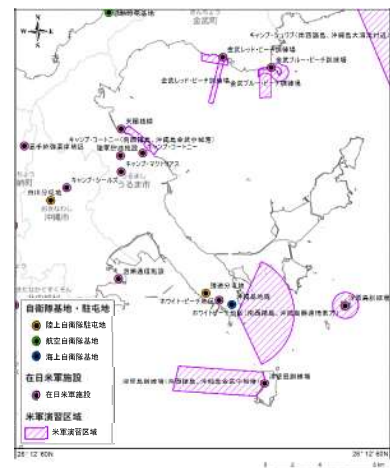
出典：平成 28 年度中部広域都市計画基礎調査

#### 【軍関連施設等】

- 在日米軍施設が本島及び島しょ部の 7 か所に存在、米軍演習区域が海岸部に 4 か所存在
- 勝連地域に陸上自衛隊駐屯地、海上自衛隊駐屯地が立地

図 2.14 軍関連施設等位置図

出典：環境アセスメントデータベース（環境省）（原典：米軍演習区域：日本近海演習区域一覧図（海上保安庁）（平成 23 年度））（原典：自衛隊・米軍基地：1. 各方面隊の駐屯地一覧（陸上自衛隊）（平成 28 年 3 月時点）／2. 基地一覧（航空自衛隊）（平成 28 年 3 月時点）／3. 編成、基地一覧（海上自衛隊）（平成 28 年 3 月時点）／4. 在日米軍施設・区域別一覧（防衛省）（平成 28 年 3 月時点）



1. 計画の概要

2. 現況調査

3. 計画課題

4. 緑及緑化の目標

5. 推及緑地の緑のふ化保針の全

6. の推及緑地策の緑のた化保めの全

7. 地域別計画

8. 配地緑慮区化地・重区保点全

9. 向計けて実現に

10. 巻末資料



#### (4) 都市計画

##### 【都市計画区域面積の推移】

- 全域が都市計画区域（非線引き都市計画区域）
- 市域（都市計画区域）面積は 8,702ha（令和 5 年 1 月 全国都道府県市区町村別面積調）であり、平成 22 年から 100ha 増加
- 用途地域指定区域（市街地）面積は 2,081.3ha（令和 3 年都市計画現況調査）であり、平成 27 年から令和 3 年で約 70ha 増加

##### 【区域別人口】

- 令和 2 年の市人口（都市計画区域内人口）は 125,303 人
- 令和 2 年の人口集中地区（DID）の人口は、市人口の 49.5%（62,071 人）

出典：平成 30 年度中部広域都市計画基礎調査、令和 2 年は国勢調査

※ 合併前の昭和 60 年～平成 12 年の人口については、旧具志川市・旧与那城町・旧勝連町・旧石川市の合計による値、一部の人口集中地区（DID）（道路等）は用途地域指定区域外となるが、用途地域指定区域内に人口集中地区（DID）がすべてあるものとして集計

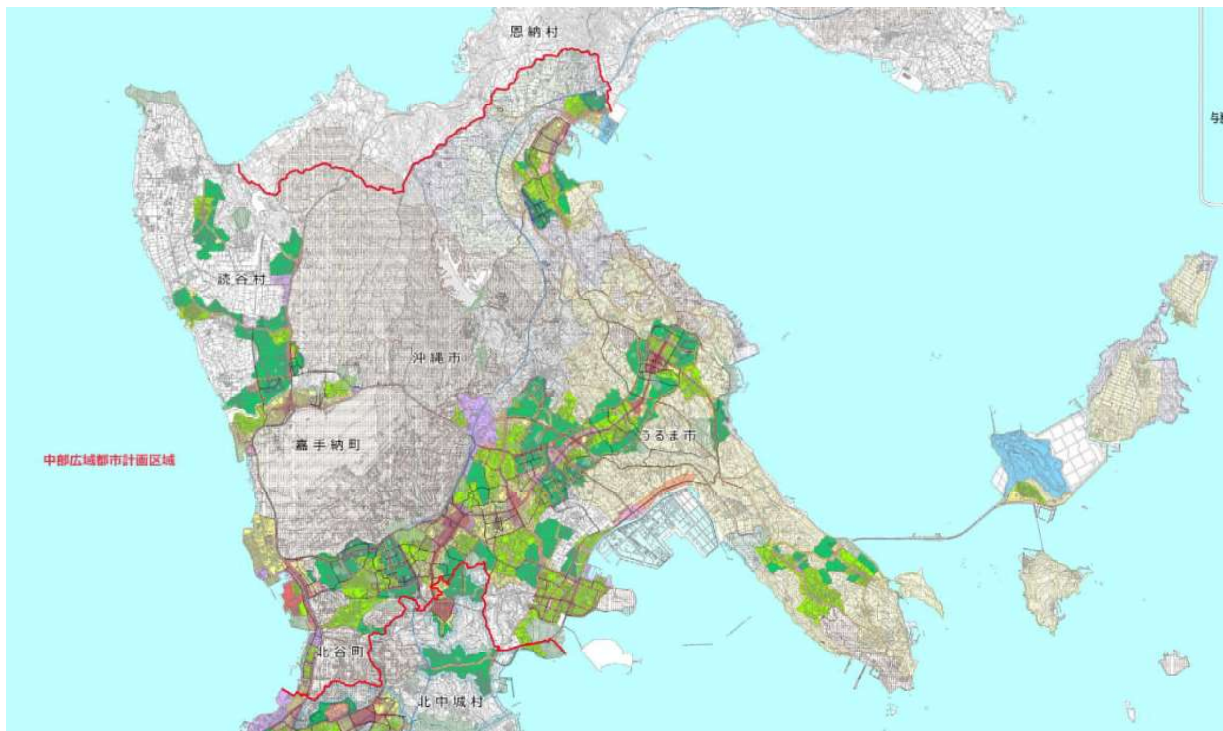


図 2.15 沖縄県都市計画管内図

出典：沖縄県の都市計画（パンフレット）

## 2.2 前計画の検証

前計画の進捗状況について検証します。

### 2.2.1 「うるま市みどり推進計画（平成22年3月）」の検証

「うるま市みどり推進計画（平成22年3月）」に基づき、施策の進捗状況を検証し、計画策定にあたっての参考とします。

表 2.1 「うるま市みどり推進計画」の達成状況

達成状況	件数	割合
達成	174	46.7%
継続中	5	1.3%
未達成	175	46.9%
未回答（未実施及び未達成が混在）	19	5.1%
合計	373	100.0%

※施策数は66件であるが、施策別に複数担当課が対応しているため、担当課別の件数373件を総件数として集計

表 2.2 「うるま市みどり推進計画」の施策の今後の予定

今後の予定	件数	割合
継続	219	58.7%
継続に課題あり	24	6.4%
中止	78	20.9%
未回答（未実施等）	52	14.0%
合計	373	100.0%

※施策数は66件であるが、施策別に複数担当課が対応しているため、担当課別の件数373件を総件数として集計

### 【うるま市みどりの推進計画（平成22年3月）の検証結果の総括】

#### ■ 「うるま市みどり推進計画」の達成状況

- ・ 施策の達成状況は46.7%であり、半数弱の達成
- ・ 継続中1.3%、未達成46.9%、未実施（未回答（5.1%）含）52.0%

#### ■ 「うるま市みどり推進計画」における施策の今後の予定

- ・ 継続約58.7%、推進を検討中6.4%、中止20.9%、未実施14.0%



✓約半数の取組について見直しが必要

## 2.3 計画目標に対する現況値の検証

### 2.3.1 人口と市街地面積等の現況値の確認

#### 【現状】

- 総人口は 125,303 人（令和 2 年国勢調査）
- 都市計画区域面積は 8,702.0ha、市街地（用途地域）面積は 2,081.3ha

#### 【検証】

- 平成 21 年総人口 113,535 人から令和 2 年総人口 125,303 人にやや増加
- 市街地面積は平成 21 年 2,000.4ha から 2,081.3ha（令和 3 年都市計画現況調査）へと増加

表 2.3 人口及び市街地面積

項目	現況
人口（人）	125,303
都市計画区域（ha）	8,702.0
市街地面積（ha）	2,081.3

※人口：令和 2 年国勢調査、都市計画区域面積：平成 28 年度～平成 30 年度中部広域都市計画基礎調査、市街地面積：令和 3 年都市計画現況調査

※市街地とは、非線引き都市計画区域の用途地域をいう。（うるま市は非線引き）

表 2.4 人口及び市街地面積の検証

項目	前計画時の現況 平成 21 年（2009 年）	現況 令和 2 年（2022 年）	前計画時の目標値 令和 11 年（2029 年）
人口（人）	113,535	125,303	129,000
市街地面積（ha）	2,000.4	2,081.3	2,449.0

※平成 21 年、令和 11 年数値：うるま市みどりの基本計画（H22.3）、※現況人口：令和 2 年国勢調査、現況市街地面積：令和 3 年都市計画現況調査

※注：2,449.0ha（市街地面積は令和 11 年（前計画時の目標）と同じに設定している）

### 2.3.2 緑被現況値の検証

#### 【現状】

- 緑被地面積は、樹林地 1,541.6ha、草地 573.1ha、農地 2,062.7ha の合計 4,177.4ha であり、市域面積（8,702ha）の約 48.0%

#### 【検証】

- 前計画では、緑被地面積の目標は未設定

表 2.5 緑被地面積の検証（○達成、△途中、×中止・不明）

項目	前計画時の現況 平成 21 年(2009 年)	現況 平成 30 年(2018 年)	前計画時の目標値 令和 11 年(2029 年)	評価
樹林地 (ha)	—	1,541.6	—	△
草地 (ha)	—	573.1	—	△
農地 (ha)	—	2,062.7	—	△
緑被地合計 (ha)	—	4,177.4	—	△

※現況値：平成 30 年度中部広域都市計画基礎調査（土地利用現況図（平成 28 年度））

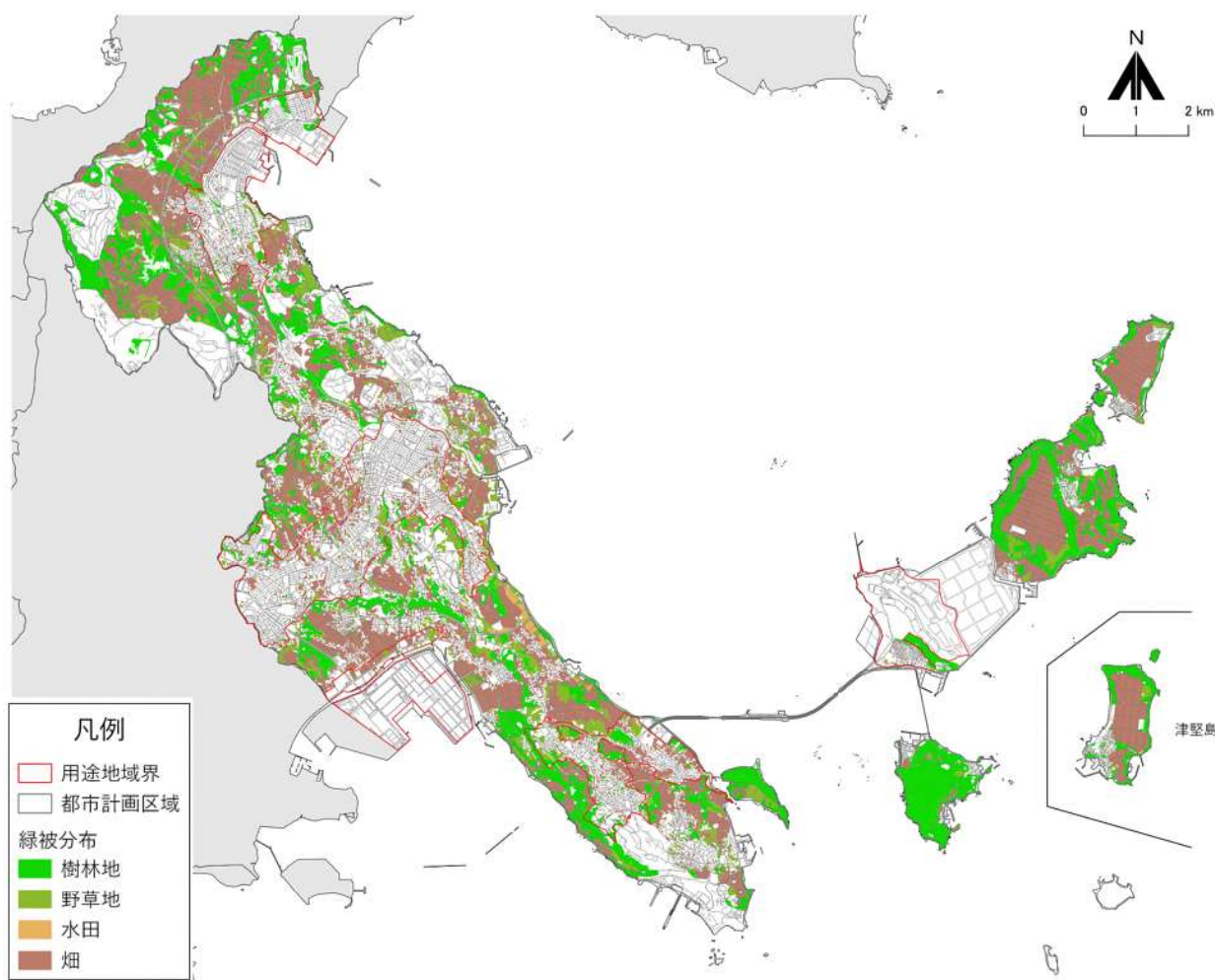


図 2.16 緑被分布図

出典：平成 30 年度中部広域都市計画基礎調査

### 2.3.3 緑地現況量の検証

#### 【現状】

- 緑地現況量：総合計 3,718.08ha
- 都市公園や公共施設緑地、民間施設緑地などの施設緑地が 309.43ha、法や条例による地域制緑地が 3,312.33ha、施設内緑化及びグラウンドが 96.32ha

#### 【検証】

- 平成 21 年におけるみどりの総量 1,948.28ha に対し、令和 4 年の総量は 3,718.08ha であり、1,769.8ha の増加（前計画目標値(令和 11 年)の 90.15%の達成）

※都市公園、地域制緑地は増加

※民間施設内の緑化面積は減少しているが、計測方法の違いによるもの

表 2.6 検証結果のまとめ

項目	単位	前計画時の 現況 平成 21 年 (2009 年)	現況 令和 4 年 (2022 年)	増加量	前計画時の 目標値 令和 11 年 (2029 年)	評価 ○:達成 △:未達成	中間 達成率
人口 (A)	人	113,535	125,303	11,768	129,000	—	97.13%
都市計画区域	ha	8,601	8,702.0	101	8,601	—	101.17%
市街地面積	ha	2,000.40	2,081.3	80.9	2,449.00	—	84.99%
緑被地合計	ha	—	4,177.40	—	—	—	—
都市公園 (B)	ha	91.61	109.21	17.60	178.77	△	61.09%
その他公園： 都市公園へ編入予定 (C)	ha	—	9.14	—	—	—	—
公共施設緑地 (D)	ha	38.47	29.06	-9.41	40.8	△	71.23%
都市公園等 (B+C+D)	ha	130.08	147.41	17.33	219.57	△	68.87%
一人当たり都市公園面積 (B/A)	m <sup>2</sup> /人	8.07	8.72	0.70	13.86	△	62.89%
一人当たり都市公園等面積 ((B+C+D)/A)	m <sup>2</sup> /人	11.46	11.76	0.30	17.02	△	69.10%
民間施設緑地	ha	164.12	162.02	-2.10	164.12	△	98.72%
地域性緑地 (法)	ha	1,437.96	3,238.86	1,800.90	3,490.96	△	92.78%
地域性緑地 (条例)	ha	38.2	58.96	20.76	38.2	○	154.35%
地域性緑地 (地区計画等)	ha	—	14.51	14.51	1.55	○	936.13%
施設内緑化面積 (公共施設)	ha	16.95	14.09	-2.86	36.5	△	38.60%
施設内緑化面積 (民間施設)	ha	116.31	21.40	-94.91	128.84	△	16.61%
グラウンド (公共施設)	ha	40.77	54.89	14.12	40.77	○	134.63%
グラウンド (民間施設)	ha	3.89	5.94	2.05	3.89	○	152.70%
みどりの総量	ha	1,948.28	3,718.08	1,769.80	4,124.40	△	90.15%

出典：次頁に記載

- ・都市公園：都市公園（最大：未開園面積含む）を採用。うるま市資料（令和4年7月28日現在）、うるま市公園整備プログラム（平成27年3月）
- ・公共施設緑地：うるま市公園整備プログラム（平成27年3月）、うるま市資料（令和4年7月28日現在）
- ・民間施設緑地：平成30年度中部広域都市計画基礎調査の土地利用現況図及び、航空写真（令和2年6月5日撮影）よりGIS求積
- ・地域制緑地：地域森林計画対象民有林、風致地区、農振農用地、保安林（平成30年度中部広域都市計画基礎調査）、河川区域（第3次うるま市国土利用計画）、史跡・天然記念物等文化財：うるま市指定文化財リスト（令和4年3月25日現在）、地区計画（うるま市HP、※現況値：うるま市資料（令和4年7月28日現在）、うるま市都市計画図（令和4年5月2日更新）、仲嶺・上江洲地区土地利用計画図）、景観地区（令和3年都市計画現況調査（平成3年3月31日現在））
- ・公共施設・民間施設：平成30年度中部広域都市計画基礎調査の土地利用現況図及び、航空写真（2020年6月5日撮影）を基にGIS求積、市資料（R3年度調書作成用（R4.3.31時点））（緑化率は敷地の20%として設定）、同敷地内の施設は重複施設を除外
- ・公共施設・民間施設のグラウンド：平成30年度中部広域都市計画基礎調査の土地利用現況図及び、航空写真（2020年6月5日撮影）を基にGIS求積、市資料（R3年度調書作成用（R4.3.31時点））（緑化率は敷地の20%として設定）、同敷地内の施設は重複施設を除外
- ・現況人口：令和2年国勢調査
- ・増加量：令和4年（2022年）時点までの増加量＝（令和4年（2022年））－（平成21年（2009年））、
- ・平成21年（2009年）、令和11年（2029年）数値：うるま市みどりの基本計画（平成22年3月）

1. 計画の概要

2. 現況調査

3. 計画課題

4. 緑及緑化の目標の保全

5. 推及緑進歩地の緑の方位保針の全

6. の推及緑進歩地策の緑のた化保め全

7. 地域別計画

8. 配地緑慮区化地・重区保点全

9. 向計け画て実現に

10. 巻末資料

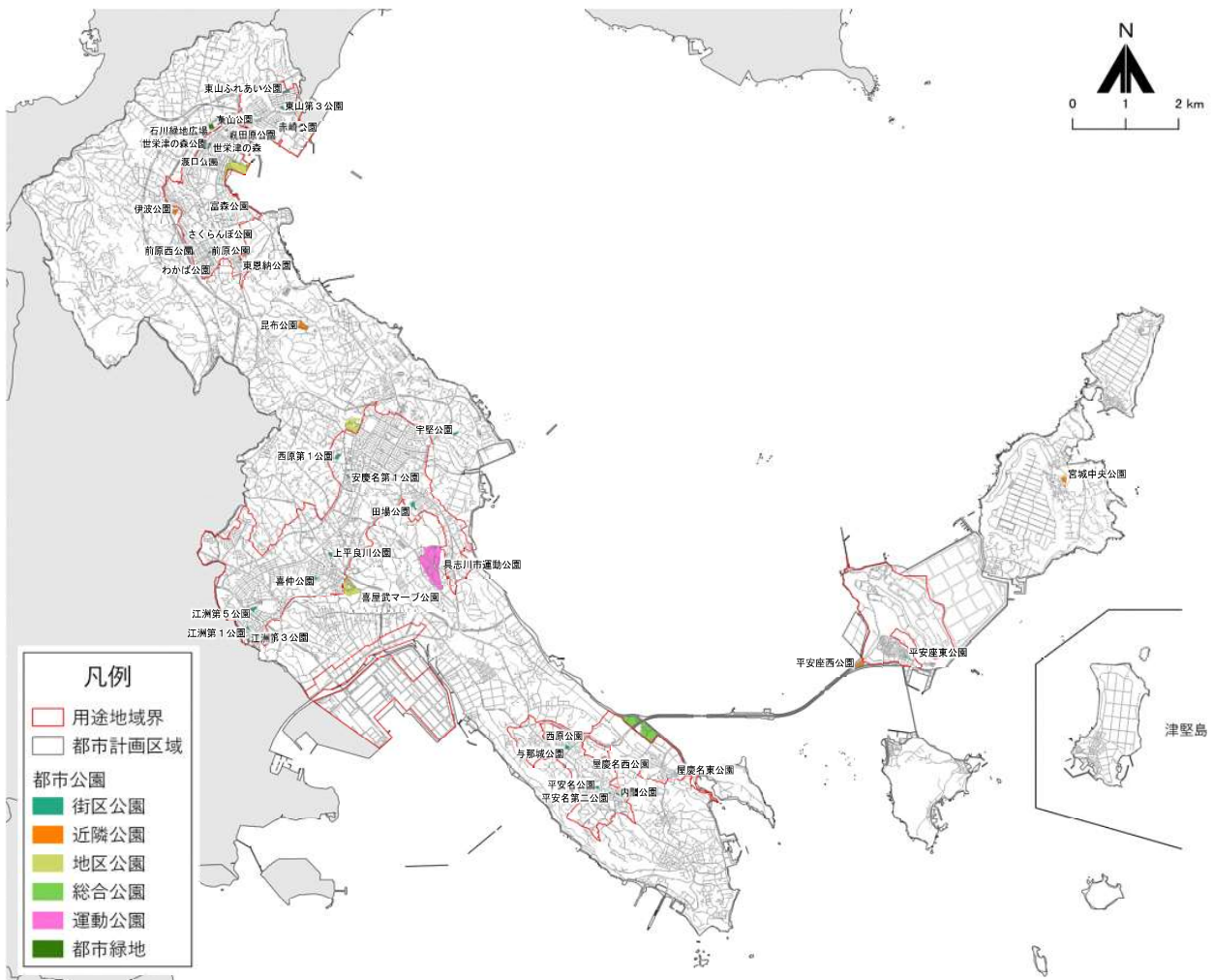


図 2.17 都市公園

出典：平成30年度中部広域都市計画基礎調査

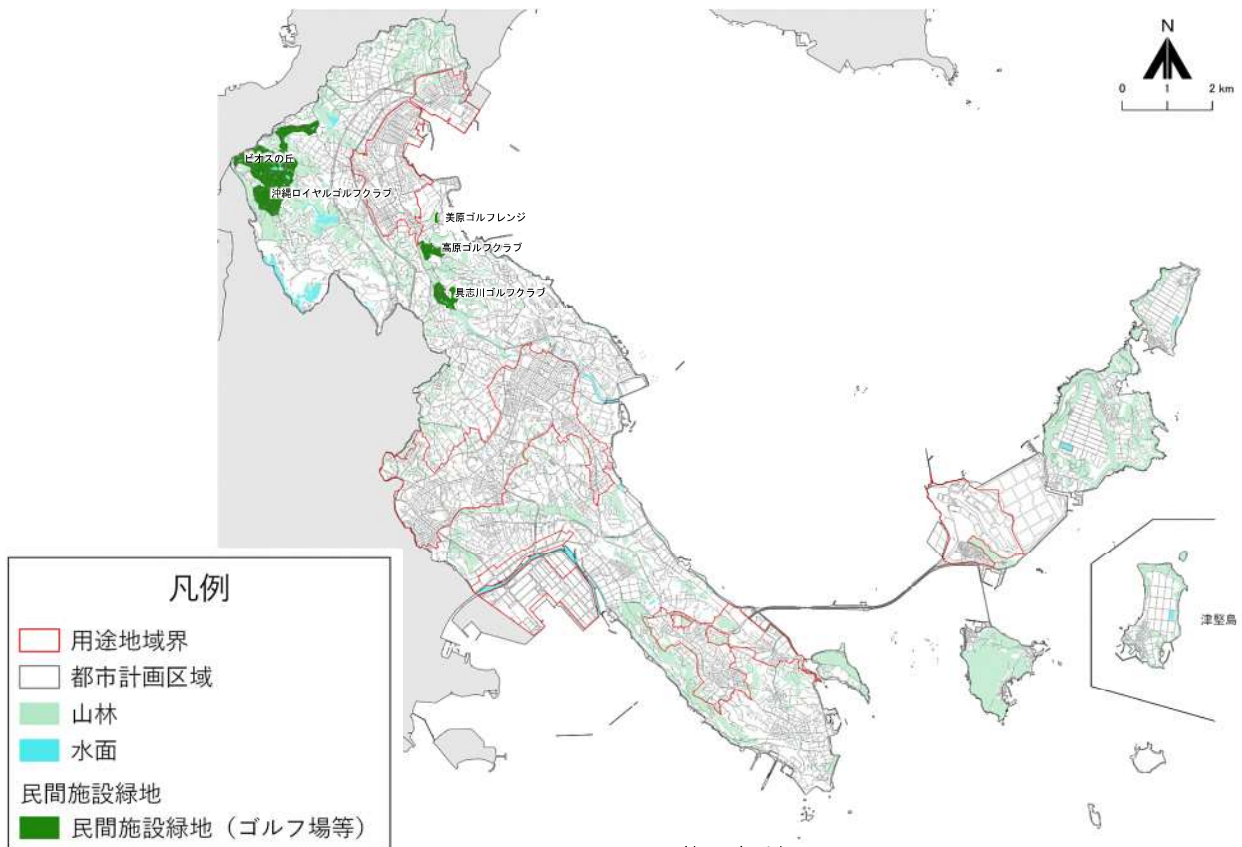


図 2.18 民間施設緑地

出典：平成 30 年度中部広域都市計画基礎調査の土地利用現況図及び、航空写真を基に作成

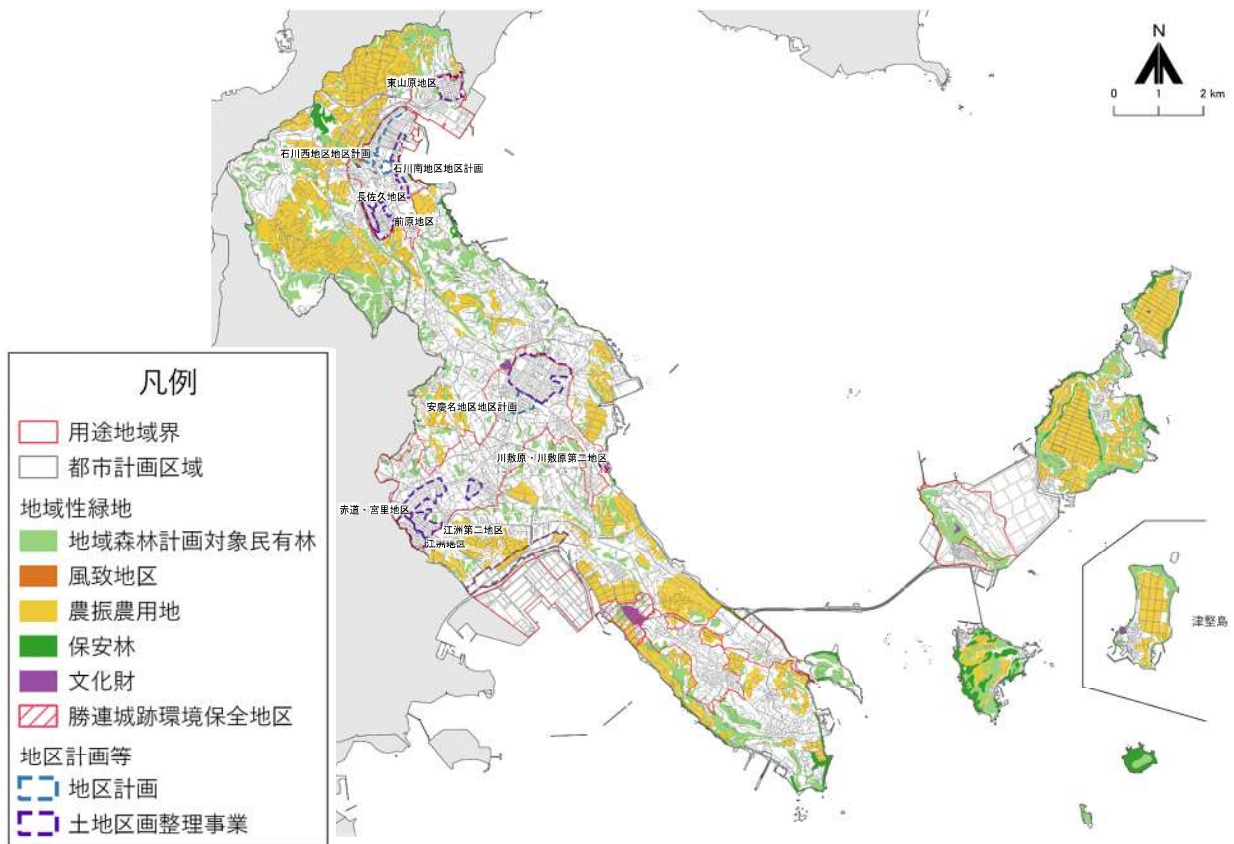


図 2.19 地域制緑地

出典：平成 30 年度中部広域都市計画基礎調査、国土数値情報 森林地域データ及び、うるま市指定文化財リストを基に作成

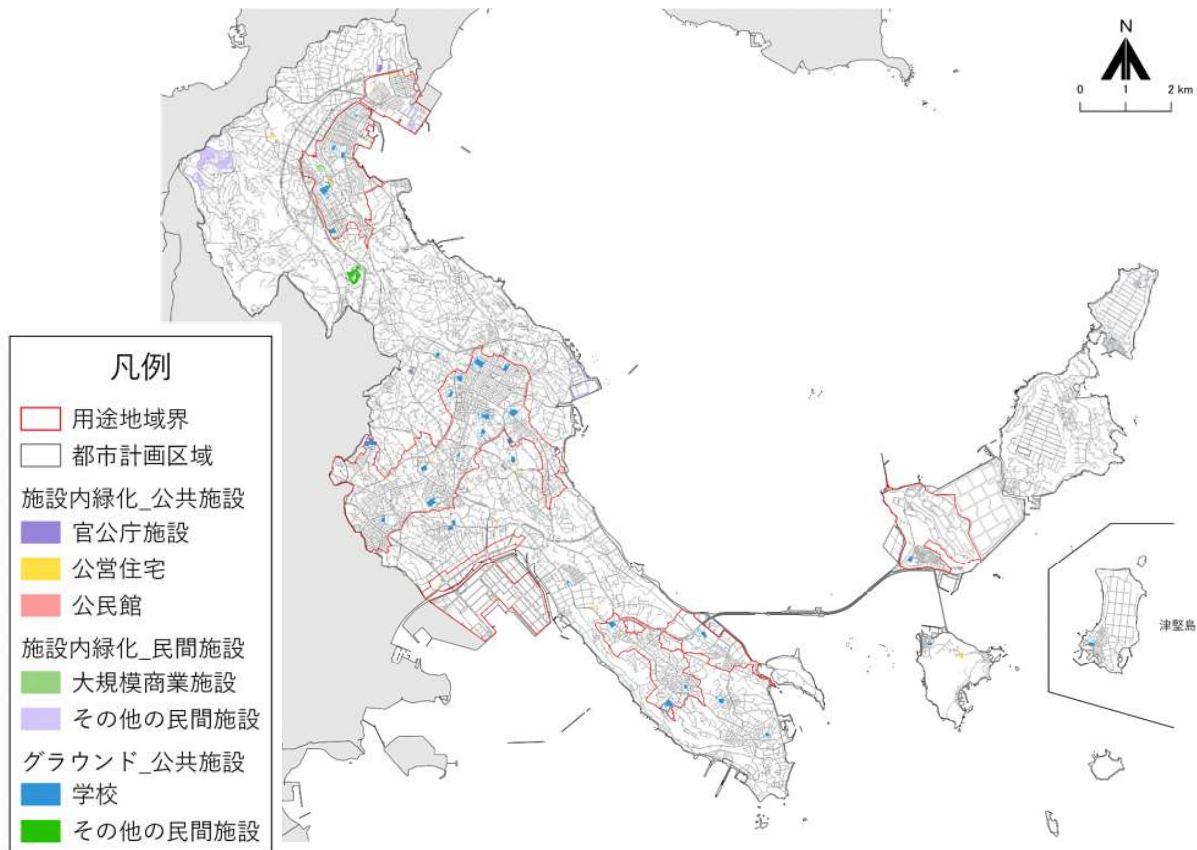


図 2.20 施設緑化及びグラウンド

出典：平成 30 年度中部広域都市計画基礎調査の土地利用現況図及び、航空写真（2020 年 6 月 5 日撮影）を基に作成

### 2.3.4 計画目標に対する現況値の検証結果の総括

- 本市のみどり（都市公園、地域制緑地）は順調に増加しており、地域制緑地（条例、地区計画等）、グラウンド（公共、民間）は達成済み
  - ※面積の減少は以下による
    - ・公共施設緑地（その他の公園）：未供用の施設及び今後都市公園へと編入予定（うるま市公園整備プログラム（平成 27 年 3 月）を除外のため
    - ・施設内緑化面積（公共施設・民間施設）：民間施設緑地にて計上（重複解除）、図上計測による減少
- 都市公園等、地域制緑地（法によるもの）の目標達成に向けての推進が必要



- ✓みどりの一層の増加に向けて、現在の取組の継続が必要
- ✓都市公園等、地域制緑地の目標達成に向けて、新たな取組が必要

1. 計画の概要

2. 現況調査

3. 計画課題

4. 緑及緑地の目標の保全

5. 推及緑進び地の緑の方化保針の全

6. の推及緑進び地策の緑のた化保めの全

7. 地域別計画

8. 配地緑慮区化地・重区保点全

9. 向計け画て実現に

10. 巻末資料